

下妻市立小中学校適正規模適正配置検討委員会 質疑応答議事録

第 6 回会議

No.	委員	事務局
1	スケジュールに出ている児童数と実際の児童数に差がある。判断する時期が遅くなると適正配置を考える準備期間が詰まってしまう。児童数の動きをどのように判断し、適正配置を進めていくのか。	スケジュールの児童数は通常学級の人数のため、実際の児童数と差が生じることがある。また、児童数は日々変動しており、流動的である。スケジュールは基準を下回ることを確認した段階で、遅滞なく必要な行動を開始するための日程を示しているが、状況の変化に応じて時期を前後させる弾力的な運用を想定している。
2	下妻中学校と千代川中学校を再編し、下妻中学校の校舎を使う場合は、再編前から(千代川中学校区から)下妻中学校に入学する生徒が増えると思う。その場合は教室が不足する可能性があることも考慮して、計画を立ててほしい。	現時点では再編時にどの校舎を使うかを明確にしていなが、様々な条件を考慮しながら検討する。具体的には通学条件や教育施設環境等の整備状況を確認しながら実施する。再編前の(千代川中学校区から)下妻中学校への入学は、保護者の意向を踏まえて検討する。
3	来年から適正配置準備期間に入る学校があるが、保護者が会議等に出席して意見を言えるのはどの段階か。	適正配置準備期間はデータ収集の時期であり、この段階での保護者の参画は現時点では想定していない。適正配置実行期間は合意形成を図る時期であり、保護者に説明し、意見をいただくことを想定している。
4	(準備)委員会等は、小学校と中学校で別々に立ち上がるのか。	現時点では、小学校と中学校の(準備)委員会等は別々に設立する想定であるが、実際には学校種別や学校区等による様々な組合せが考えられるので、柔軟に設定していければと考えている。
5	県立下妻第一高等学校附属中学校の定員数を増やすような県の方針があるのか、把握していれば知りたい。	現時点で定員数の増減予定は把握していない。
6	小中学校の再編が進んでいくと、東部中学校の在り方の検討が必要になる可能性があると思うが、どのように考えているか。	当面は現状維持としている。ただし、小中学校の連携や小中一貫教育についても意見をいただいております。将来的には学校の制度が変わる可能性もあることから、適切な時期に必要な検討ができるよう状況を注視していく。
7	東部中学校区の小学校4校を再編するときの学校の設置場所等の検討は、今後どのように進めていくのか。	公共施設の在り方は、公共施設マネジメントの考えに基づき維持管理や配置等を検討することになっている。学校の在り方も教育委員会が検討した上で、公共施設マネジメントの会議等で検討し、決定することになる。
8	情報は、早い段階で提供してほしい。	早期の情報発信に努めるとともに、適切な時期に具体的な説明や検討を行う。